

販売店様・加工店様へのお願い

⚠ 注意

- ◎棟風本体の切り詰め加工は、漏水の原因につながりますので行わないでください。
- ◎棟風は屋根棟水平部で一番高い場所の中央部へ取付けしてください。
- ◎棟風は適する屋根と適応屋根勾配範囲内で取付けてください。
- ◎シーリング材はシリコン系をご使用ください。

お願い

- ◎施工を始めてから手直しが出ないよう事前に調査や打ち合わせを十分に行ってください。
特に設計者や工務店様と取付けスペース・工程・搬入実施日・搬入場所・施工実施日等、綿密な打ち合わせをしてください。
- ◎製品の運搬や取付けの際はキズを付けないように気をつけてください。
- ◎建物に取付ける部材・部品は建物のたる木等の構造部材に確実に固定してください。
- ◎水平・垂直・直角は必ず正確に出してください。正確に出ていないと取付かない場合があります。
また、十分な強度が出てない場合もあり大変危険です。注意してください。
- ◎取付けの際、釘・ネジ等は規定本数を確実に締付けて固定してください。建物に孔をあけたりネジを止めたりした場所には確実にシーリングを施してください。
- ◎役物に銅板を使用しますと棟風との間で電蝕作用を起します。
もし、銅板役物を使用する場合には、じかに棟風本体と銅板役物を接触させないように、
パッキン等を間にはさんで施工するようにしてください。
- ◎屋根面の残材等は十分に清掃を行なって下さい。

適応屋根

タイプ	屋根材	屋根の形	取付部分	屋根勾配
固定型	金属屋根 化粧スレート板屋根	切妻及び寄棟	棟の水平部	∞

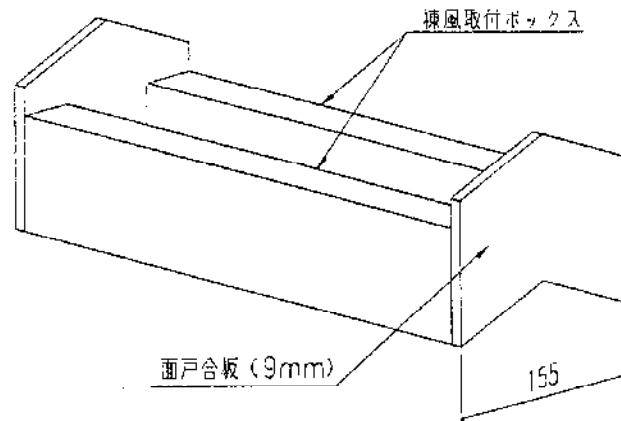
梱包内容

名称	製品記号	長さ	換気孔面積 m^2 /本	天井面積 m^2 /本	梱包内容
棟風 固定型	R3AB1010N	L=1010	0.01	16	本体(1) ヒット部品(1) シーラー(1) 施工マニュアル(1)
	R3AB1920N	L=1920	0.03	48	本体(1) ヒット部品(2) シーラー(2) 施工マニュアル(1)
	R3AB2830N	L=2830	0.044	70	本体(1) ヒット部品(3) シーラー(3) 施工マニュアル(1)
	R3AB3740N	L=3740	0.06	96	本体(1) ヒット部品(4) シーラー(4) 施工マニュアル(1)
	R3AB4650N	L=4650	0.073	116	本体(1) ヒット部品(5) シーラー(5) 施工マニュアル(1)
	R3AB5560N	L=5560	0.09	144	本体(1) ヒット部品(5) シーラー(6) 施工マニュアル(1)

施工手順

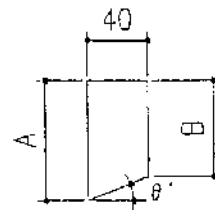
1 棟風取付ボックスの製作

① 棟風を施工する際には、あらかじめ棟風取付ボックスを製作しておきます。



② 棟風取付ボックスの巾は、155mmで一定ですが、高さは勾配によって下記のように変化します。

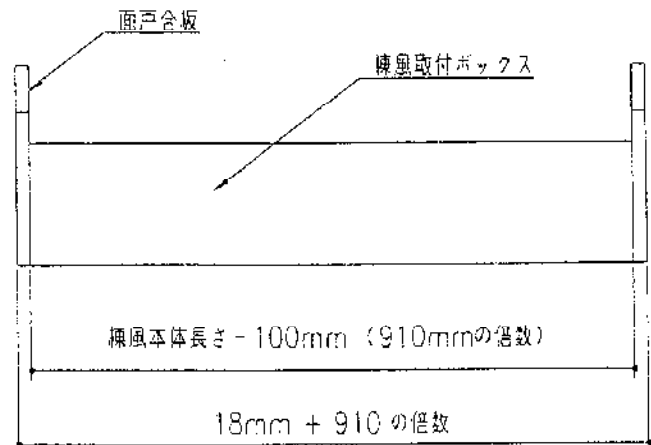
勾配	θ°	A x B
3 寸	16° 41'	80 x 68
3.5 寸	19° 17'	80 x 66
4 寸	21° 48'	80 x 64
5 寸	26° 33'	80 x 60
6 寸	30° 57'	80 x 56
7 寸	34° 59'	80 x 52
8 寸	38° 39'	80 x 48
9 寸	42° 00'	80 x 44
10 寸	45° 00'	80 x 40



最大16寸勾配まで施工可能です。

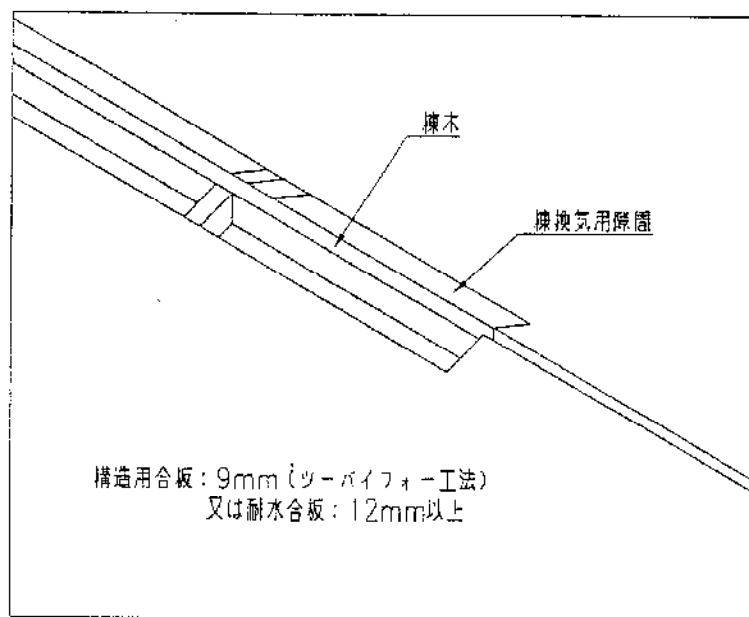
③ 棟風取付ボックスの長さは、取付ける棟風本体の長さから100mmマイナスした長さにしてください。

棟風取付ボックス長さ	棟風本体長さ
910mm	1010mm
1820mm	1920mm
2730mm	2830mm



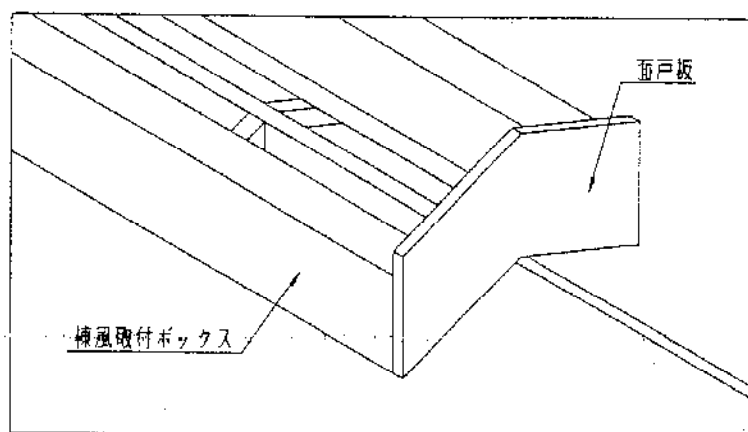
2 棟換気用隙間

- ① 野地板・構造用合板：9mmまたは耐水合板：12mm以上を千鳥張りで全面に張ります。
- ② 棟換気用隙間を開けます。隙間の中・長さは棟風取付ボックス（内寸）の寸法に合わせてください。



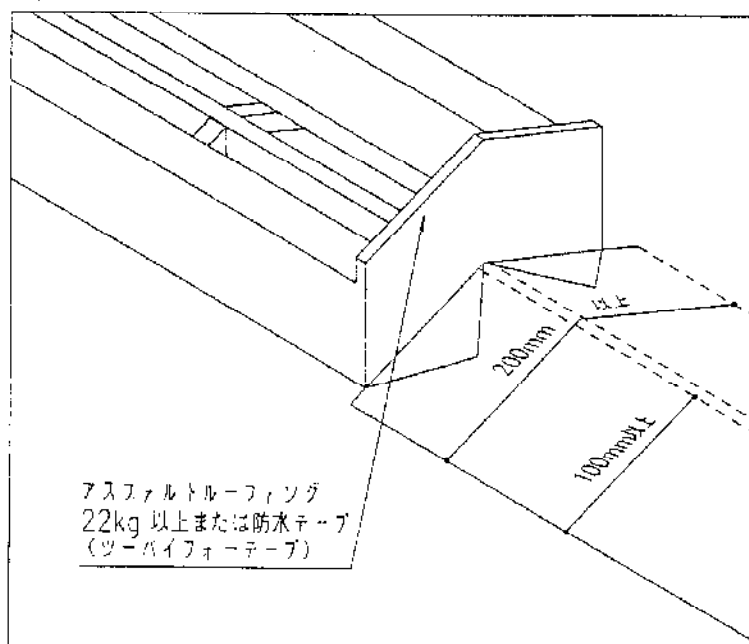
3 棟風取付ボックスの設置

- ① 棟換気用隙間に合わせて、棟風取付ボックスを野地板の棟上に取付けます。



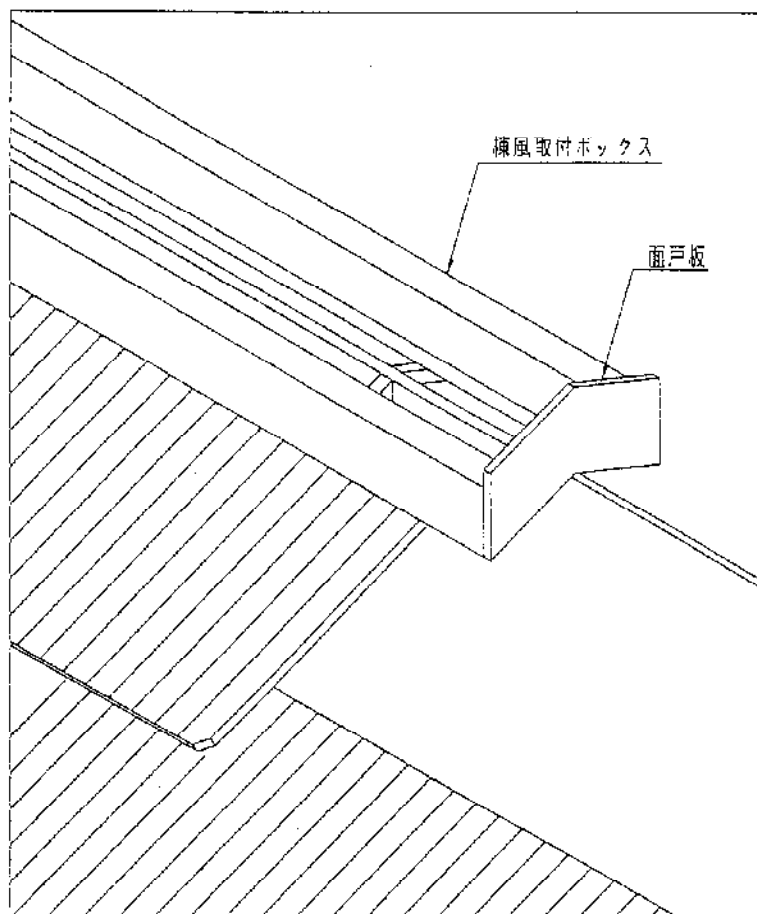
4 ルーフィングの張り方

- ① 防水紙は、アスファルトルーフィング22kg以上を使用し、全面張りとします。
- ② 棟風取付ボックスの端部（面戸板）は、図の様にしてください。
または、端部に防水テープ（ツーバイフォーテープ）を使用してください。
ルーフィングは、取付ボックスの上部まで立ち上げ、かぶさるように張って下さい。
- ③ 棟部のルーフィングの重なりは、100mm以上重ねてください。



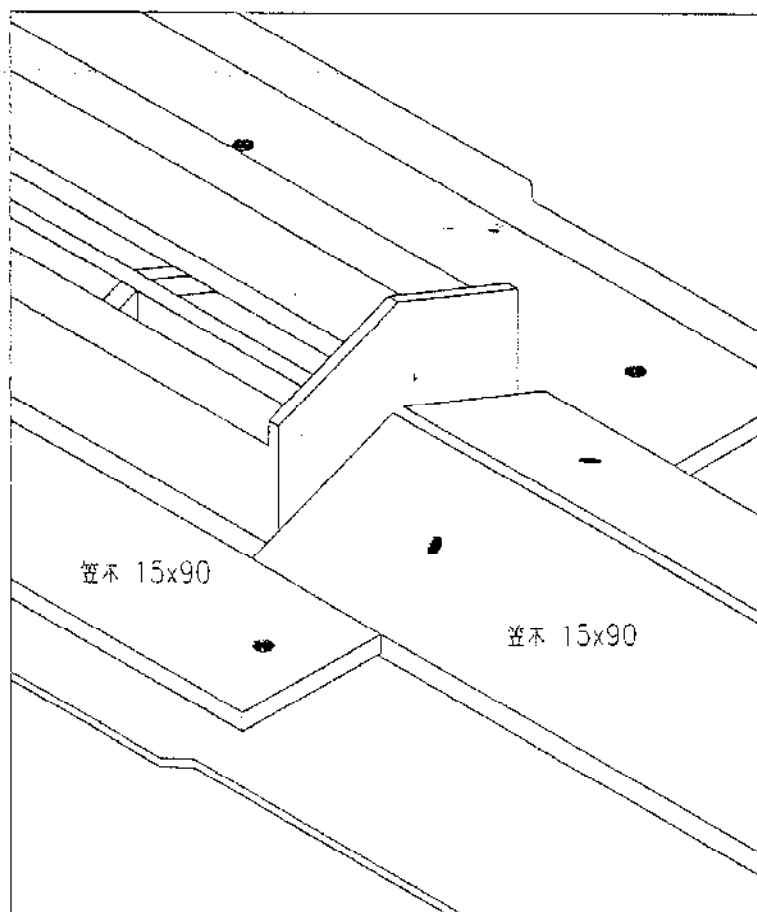
5 屋根材の施工

- ① 屋根材を寸法に合わせて切断し従来の施工方法で張り上げます。



6 笠木の施工

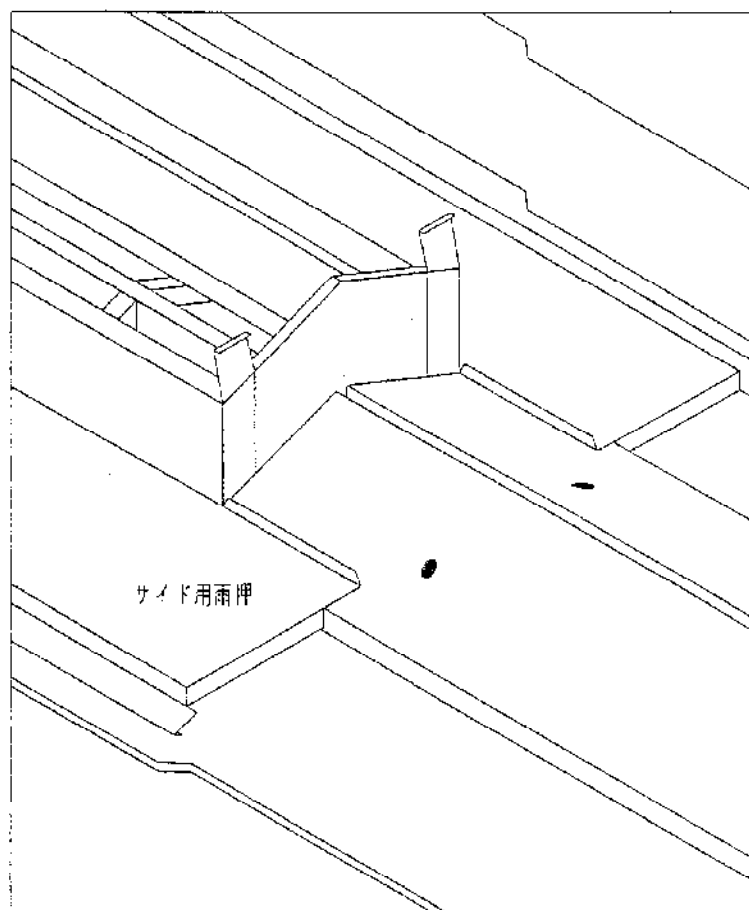
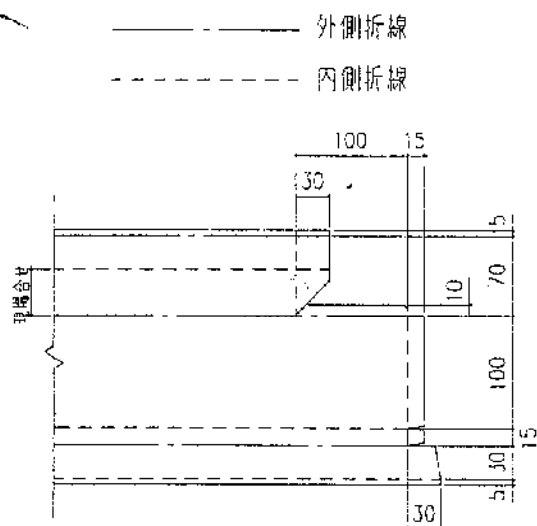
- ② 棟風取付ボックスを囲むように、笠木を両押さえの巾（次ページ参照）に合わせて取付けます。



7 サイド用雨押の加工・取付

① 雨押を下図のように加工します。

② 右図のように、雨押を取付けます。雨押の
永返し板は、棟風取付ボックスから出た分を
内側に折り返します。

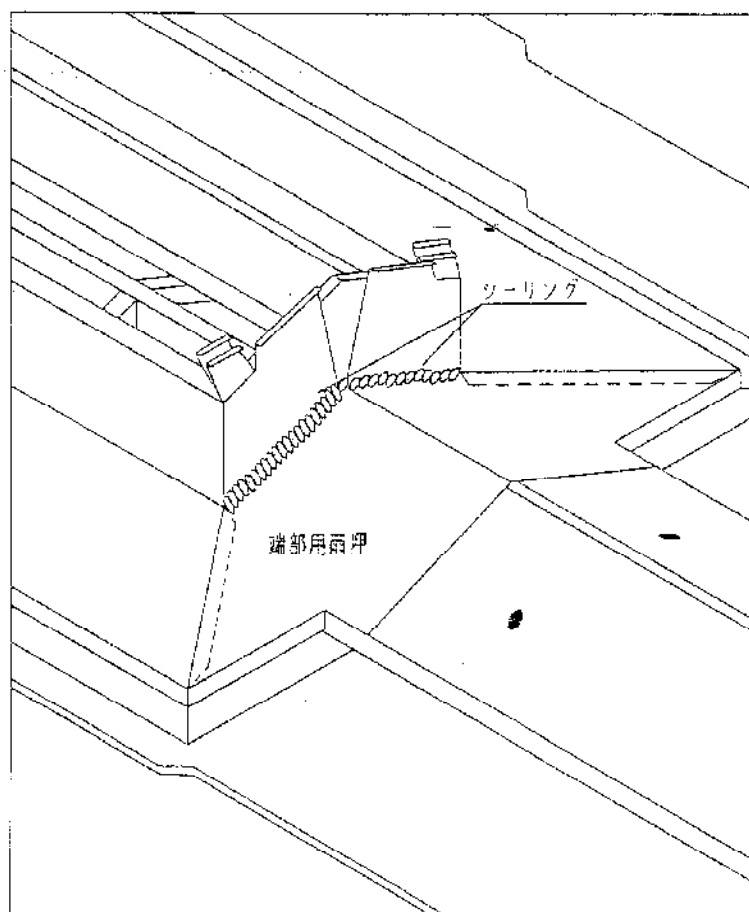
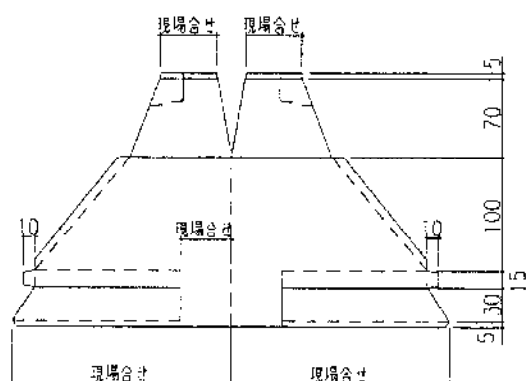


8 端部用雨押の加工・取付

① 雨押を下図のように加工します。

② 右図のように、雨押を取付けます。

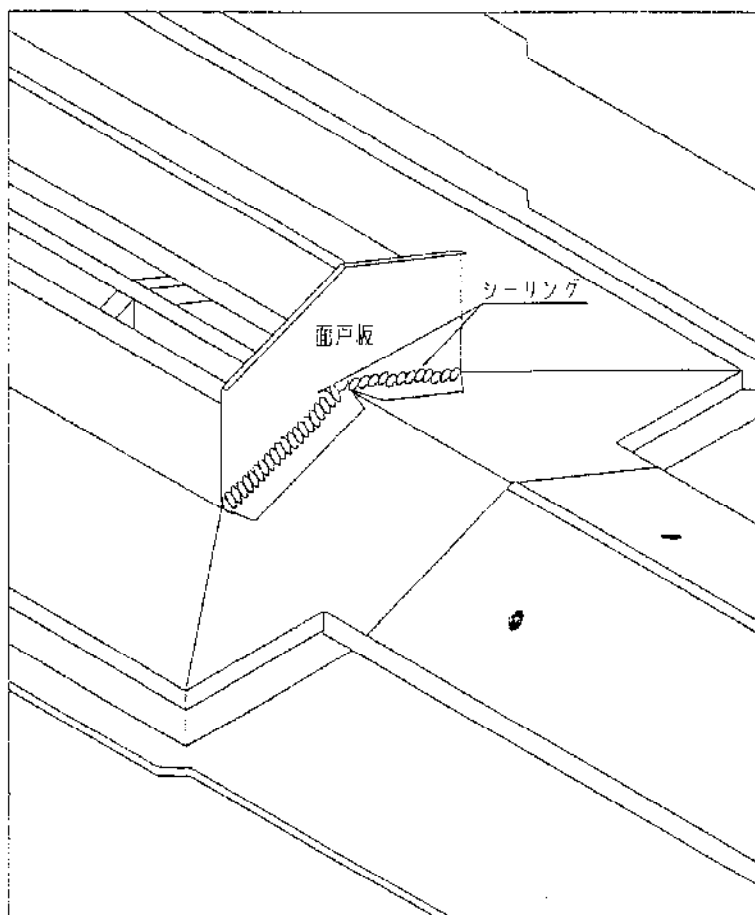
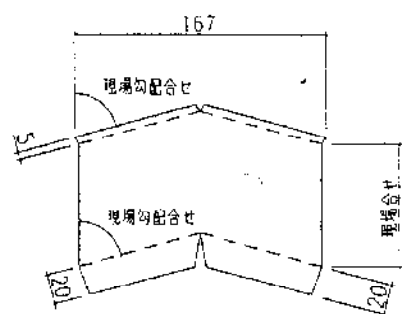
取付完了後、シーリングを施してください。



9 面戸板の加工・取付

① 端部雨押部の防水性を上げるために、面戸板を取付けます。下図のように加工してください。

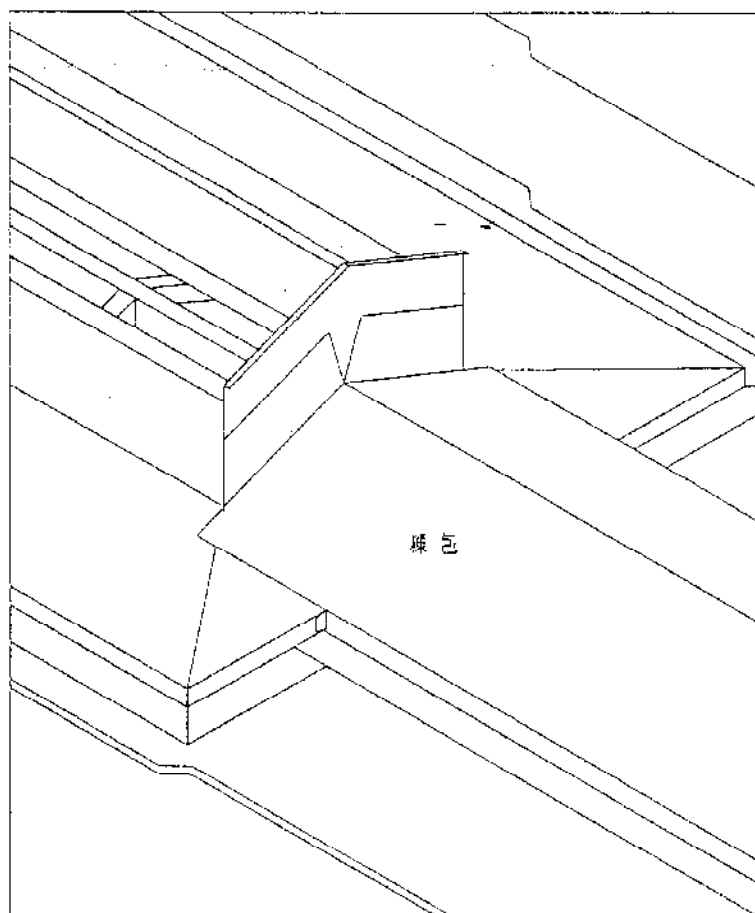
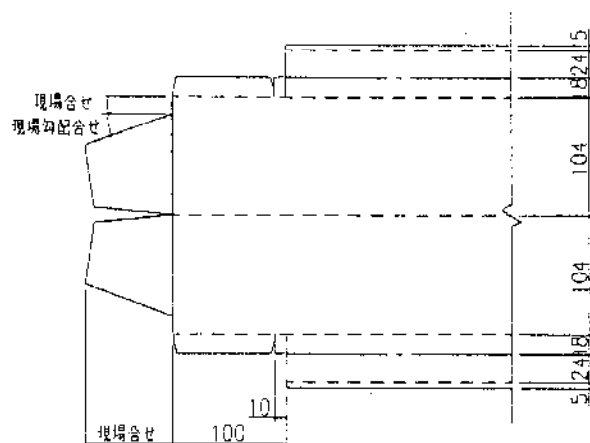
② 右図のように、面戸板を取付けます。
(取付け後にシーリング処理を行なって下さい。)



10 棟包の加工・取付

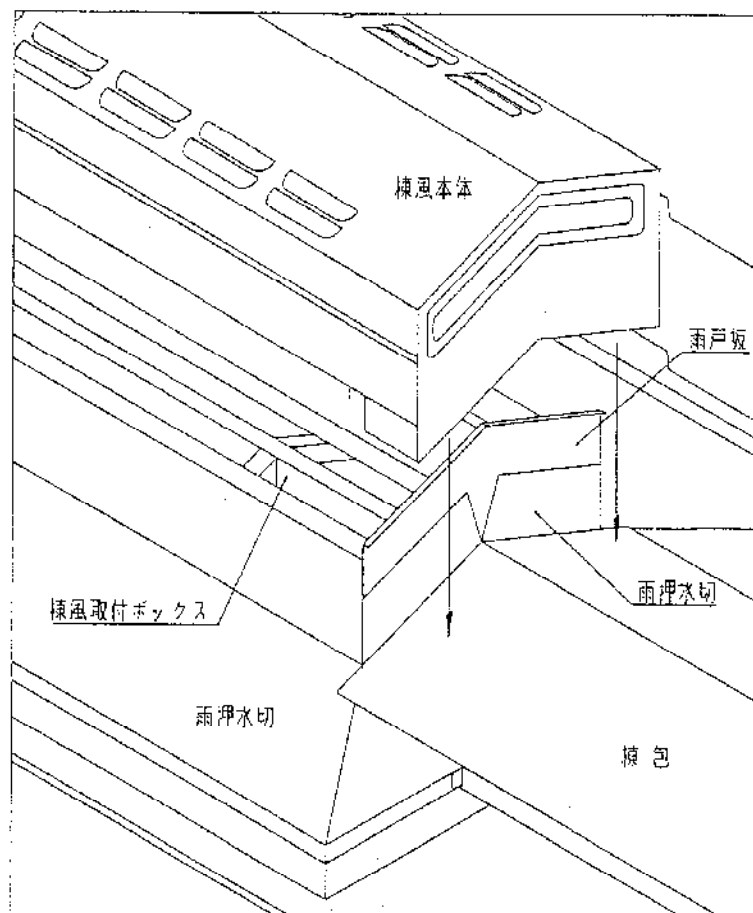
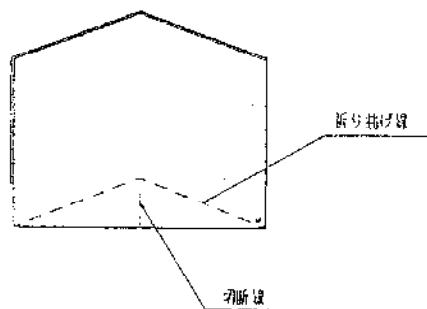
① 棟包を下図のように加工します。

② 右図のように、棟包を取付けます。



11 棟風本体の取付

- ① 棟風本体の端部を勾配にそって下図のように加工し、内側に曲げておいてください。



- ② 棟風本体を右図のようにしっかりと押え込んで取付けます。棟風本体の端部は、棟風取付ボックスの端部から、50mm離れた位置に納まります。

- ③ 棟風本体の端部と棟包の間にシーリングを施して完成です。

